



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第211号 2019年10月号

SINCE 2002.4.1.

発行日令和1年9月30日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

点検

今回の台風による住まいのダメージで一番多かったのは、暴風によりコロニアルの棟包（板金）が外れるといった事例です。これは、板金と屋根の間に施工した下地の杉板が経年劣化や湿気等でふやけてしまい、釘が効かなくなったことが原因と思われます。板金自体に損傷がなく、フェルトにも亀裂がない場合は、杉板を交換してしっかりと固定すれば、雨漏りを防ぐことができます。ただし、コロニアル自体が傷んでいたり、フェルトに亀裂がある場合は、雨漏りをする可能性があります。毎年毎年凶暴性を増す暴風雨に耐えられるように、適切な点検とメンテナンスを心掛けましょう。



（すまい造りメール第184号参照）

「よこすか産業まつり」中止

「よこすか産業まつり」の中止が発表されました。開催場所の三笠公園の護岸が台風による波の浸食で、護岸に穴があき、公園内の地盤の下に空洞が生じている危険性が指摘されました。今後、現状の調査が予定されていますが、開催日までに安全性の確認ができない可能性があるため、やむなく今年は中止になりました。毎年、多くの方々にご来場いただき、また、弊社のブースにもお立ち寄りいただいていますので、中止は非常に残念ですが、来年さらにパワーアップして準備を進めて参りますのでどうぞ楽しみにしてください。



（参考資料「横須賀市ホームページ」）

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. **Next100**

平成29年のリフォーム工事依頼、住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回はトイレの便器の便座が壊れたので交換してほしいというご要望でした。便座のみの交換の場合、ウォシュレットにした場合、節水型の便器に交換した場合の見積を比較検討していただき、便器を交換する工事になりました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

現在お使いのトイレは、C423（TOTO）で同じメーカーのピュアレストQRに交換しました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォアー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



1回当たりの洗浄水量で比較すると 小で約1/4 大で約1/3 の節水になります	CS230 (新規)	大 4.8ℓ 小 3.6ℓ
	C423 (既存)	16.0ℓ

よこすか文学館

<46>

横須賀に生まれ育ち、高浜虚子の俳句理念を継承し、長年にわたり活動を続けた俳人高田風人子をご紹介します。

秋刀魚々々々

秋刀魚の歌の

ありしかな

高田風人子

第十回（十月の俳句）

第4句集『四季の巡りに』（2016年）所収。「々」は躍り字（反復記号）で、読みとしては、「さんまさんまさんまのうたのありしかな」となります。「秋刀魚の歌」は佐藤春夫（1892-1964）の著名な抒情詩、谷崎潤一郎との「細君譲渡事件」を背景に持つ詩としても知られています。「…さんま、さんま、さんま苦いか塩っぱいかな…」というフレーズが出てきます。食卓のサンマを見てこの名詩をふと想起した、といった句でしょうか。



洗足学園中学高校教諭 中島正二

横須賀製鉄所物語（小栗上野介②）〈58〉

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

徳川幕府では大きな事件（安政の大獄）が発生しましたが、アメリカとの外交関係から日米修好通商条約の批准が急がれました。その背景には日米和親条約が結ばれ駐日総領事として、伊豆下田玉泉寺の領事館に着任したタウンゼント・ハリスから日米修好通商条約を結ぶようと幕府に強く求めていました。この交渉には幕臣の岩瀬忠震が中心になって対応しました。坂本藤良著『小栗上野介の生涯』には「談判すること14回、終盤忠震は、またもハリスを驚かせるような申し出をした、条約の批准はワシントンでおこなうことにしたいというのである」。そこで幕府はヨーロッパ諸国とアジアとの関係について、情勢分析をして判断した結果勅許を得ぬまま「日米修好通商条約」を結びました。

条約批准のための遣米使節団については、内定していた人たちは安政の大獄の影響を受けて外されて、新たに正使 新見豊前守 副使 村垣淡路守の外国奉行に、そして小栗上野介は目付に抜擢されての起用でした。そして、この使節団の重要性から派遣される幕臣は総員77名の大規模のものとなりました。

使節団の渡米については、アメリカの軍艦ポーハタン号が派遣されることになりましたが、使節団の持参する品々はとても積みきれぬものではありませんでした。そこで幕府内部においても予め、日本独自の軍艦を随伴させたらどうかとの意見もありました。坂本藤良著『小栗上野介の生涯』によりますと「渡米使節団に随行させる別船の派遣は、水野、永井、岩瀬らが強く要望したところからはじまったのである。日本人の操船する別船を仕立てることが、諸外国への体面、わが国の海軍育成のために望ましいという上申は、早くも安政5年（1858年）8月（つまり条約調印の翌々月）に彼らによって提出されていた」と記しています。

そして、咸臨丸の責任者として軍艦奉行に任命された、外国奉行の木村摂津守が選任され、随行させる船は咸臨丸に決定、乗船者については、井伊直弼から木村摂津守に一任されていたので、築地海軍操練所の教授方頭取勝麟太郎（海舟）を始めとして、海軍操練所の教授が操船を担う士官として決定されました。当時の日本としては最高の海軍のメンバーであったと言えます。

（元横須賀市助役 井上吉隆）



京橋南築地鐵炮州絵図
（東京都立中央図書館特別文庫所蔵）

台風の影響のあと

9月9日未明に東京湾を縦断した台風15号が与えた影響はしばらく続くと思われます。既にご存知かと思いますが、建設業界では、屋根工事の日本瓦を担当する瓦屋さん、コロニアルや板金、樋を担当する銅工屋さん、その作業をするために必要な足場を設置する建設足場屋さんに一度に注文が集中しています。どうしても、緊急を要するものが優先され、台風前に予定していた工事にまで、工期が遅れるなどの影響がでてきます。事例を紹介させていただくと、新築工事で樋を設置するという仕上げの段階で台風の影響を受け、銅工



金沢区の野島公園では10mを超す大木が広い範囲にわたり30本以上倒された

屋さんの予定が定まらず、足場を撤去することができず、その後に予定されていたエクステリア工事が出来なくなり、引越しも延期せざるを得なくなったり、その足場は次の外装工事で使用する予定でしたが、着工することができずに塗装工事がストップするといった状況です。通常化するまで、いましばらく、このような状況が続くと思われます。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いします。

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2019」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索